

(2) 西部地域

① 西部地域の現状・特徴

- ア) 宮床地区・吉田地区：地区中心部
 イ) 田園地域：優良農地（農振農用地）を主体とする地域
 ウ) 緑地地域：船形山から七ツ森にかけて広がる自然豊かな森林地域

西部地域は、本町のシンボルである七ツ森を含む緑豊かな森林を主体とした地域で、宮床、吉田の一部で形成しており、町の区域の大半を占めています。

ア) 宮床地区・吉田地区

- 宮床地区は宮床伊達家の城下町として国道457号沿いに、また吉田地区は(一)升沢吉岡線沿いに古くから形成されてきた西部地域の主要な地区の中心部です。
- 近年は、両地区ともに、人口の減少や少子高齢化が進んでおり、地域の特性や歴史・自然資源等を活かしながら、定住環境の形成が求められています。

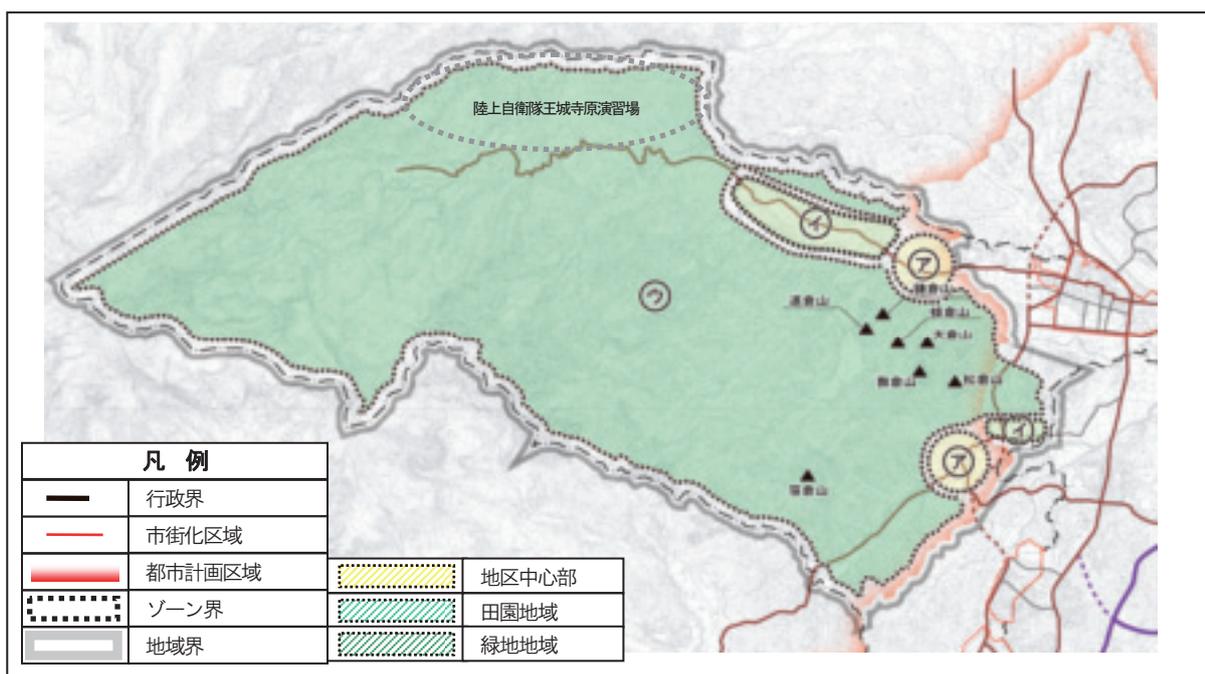
イ) 田園地域

- 吉田川や宮床川沿いの農地（田園）は、農業振興地域農用地^{*}に指定されており、優良農地として利用されています。

ウ) 緑地地域

- 船形山から七ツ森にかけて広がる森林地域で、地域の大部分は県立自然公園に指定されており、船形山や桑沼周辺にはニホンカモシカやモリアオガエル等の希少野生生物が生息しています。
- 東部には本町のシンボリックな景観を形成する七ツ森や町総合運動公園が、さらに、地域内には南川、宮床ダムや旗坂キャンプ場などがあります。
- 北部には、大和町、色麻町及び大衡村にまたがる陸上自衛隊王城寺原演習場があります。

【 西部地域の現状地区区分 】



※文章中の「*」については、巻末の用語集を参照してください

② 西部地域における地域づくりの目標

[地域づくりの目標]

当地域では、船形山や七ツ森をはじめとする緑地・田園環境の保全を基本としながら、地域の活性化に向けて、こうした優れた自然資源や貴重な歴史資源を活かした観光・レクリエーションの振興とともに、安心して定住できる環境の形成を図ります。



[地域づくりの方針]

● 優れた自然・田園の保全と地域の特性を活かした観光・レクリエーションの振興

- ・船形山、七ツ森の森林の緑や貴重な動植物の生息地、吉田川の流域に広がる農地・田園等、まほろばの里を象徴する優れた自然・田園を保全し、次代へと引き継いでいきます。
- ・自然と緑豊かな森林地域の中の水と緑の交流拠点であるダム湖周辺（南川ダム周辺、宮床ダム周辺、旗坂キャンプ場周辺等）、本町のスポーツの拠点である大和町総合運動公園や、宮床地区に伝わる伊達家の歴史・文化等地域の魅力・特性を活かしながら、地域活性化の一環として、観光・レクリエーションの振興を図ります。

● 安心して定住できる環境の形成

- ・周辺の自然との共生や地域で育まれてきた歴史資源の活用、中心市街地へのアクセス*向上、公共交通サービスの充実等を図りながら、安心して定住できる環境の形成を促進します。

③ 西部地域の基本的な構成

地域づくりの目標に基づく将来の土地利用のゾーニングと地域の骨格を構成する交通ネットワークを次のように定めます。

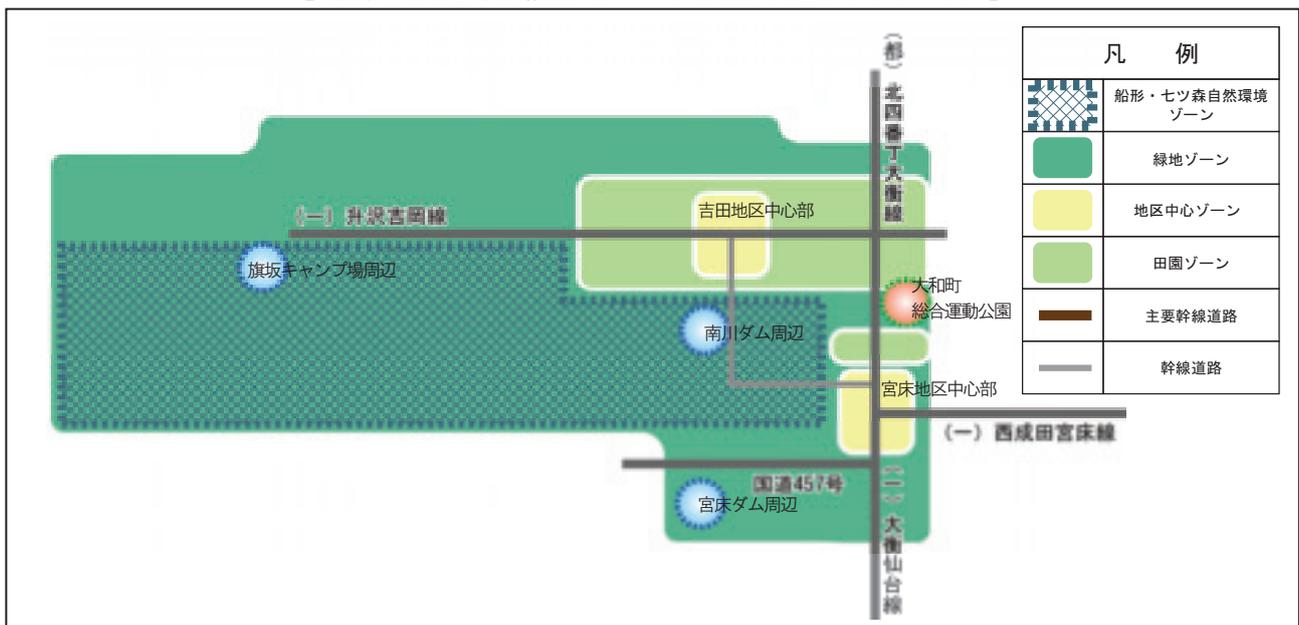
1) 土地利用のゾーニング

| | | |
|----------|-------------------|---|
| 宮床 吉田 | 地区中心 ゾーン | 地区中心部 ・宮床地区中心部、吉田地区中心部 |
| 田園 地域 | 田園ゾーン | 本町の農業生産拠点として農業の振興を図る農地 ・地域東部の吉田川沿い、北部の宮床川沿いの農地 |
| 緑地 地域 | 船形・セツ森 自然環境ゾーン | 特に良好な自然環境や自然景観を有する緑地 ・県立自然公園船形連峰の区域 |
| | 緑地ゾーン | 船形・セツ森自然環境ゾーンに連担する身近な緑地、里山 ・上記「船形・セツ森自然環境ゾーン」以外の緑地地域 |

2) 交通ネットワーク

| | |
|------------------|---|
| 主要幹線道路 及び幹線道路 | 主要な国県道 ・国道457号、(都)北四番丁大衡線(一)大衡仙台線、 (一)升沢吉岡線、(一)西成田宮床線 |
|------------------|---|

【西部地域の基本的構成(ゾーニング及び交通ネットワーク)】



※文章中の「*」については、巻末の用語集を参照してください

④ 西部地域における整備、開発及び保全の取り組み

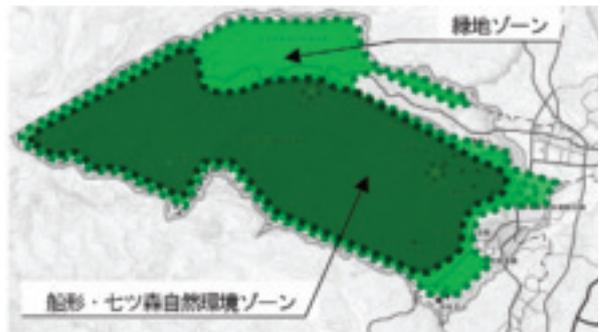
地域の基本的な構成で設定した土地利用のゾーニングごとの整備、開発及び保全の取り組みは以下に示すとおりです。

1) 船形・七ツ森自然環境ゾーン 及び 緑地ゾーン

緑豊かな自然が広がる船形・七ツ森自然環境ゾーンと緑地ゾーンにおける整備、開発及び保全の取り組みを次のとおり定めます。

[ゾーンの配置計画・区域]

- ・船形・七ツ森自然環境ゾーン：
県立自然公園船形連峰の区域
- ・緑地ゾーン：上記以外の緑地・森林地域



[整備、開発及び保全の取り組み]

● 船形・七ツ森自然環境ゾーン：次代に引き継ぐ町の宝として良好な自然環境の保全

- ・船形山から七ツ森一帯の森林は、県立自然公園に指定されている自然豊かな地域であり、次代へと引き継ぐ町の宝として、今後も法規制等に基づき重点的に保全していきます。

● 緑地ゾーン：都市と自然の緩衝帯でもある暮らしに身近な緑地・里山環境の保全

- ・船形・七ツ森自然環境ゾーンに連担する森林は、自然と都市の緩衝帯の役割も担う、地域住民の暮らしに身近な緑地・里山であり、今後もその環境を保全していきます。

● 豊かな自然や水辺、各種運動施設等を活かした観光・レクリエーションの振興

- ・緑の中で自然や水辺にふれあえる南川ダム周辺、宮床ダム周辺、旗坂キャンプ場周辺や、既存の緑の中でスポーツや健康づくりを楽しめる大和町総合運動公園を、それぞれ水と緑の交流拠点並びにスポーツ・レク交流拠点に位置付け、各種の既存施設・資源を活かしながら、観光・レクリエーションの振興を図ります。

2) 地区中心ゾーン

周辺の自然・田園環境と共生する地区中心ゾーンにおける整備、開発及び保全の取り組みを次のとおり定めます。

[ゾーンの配置計画・区域]

- ・地区中心ゾーン：宮床地区中心部、
吉田地区中心部



[整備、開発及び保全の取り組み]

● 自然・田園環境と共生する地区中心部における地域定住化の促進

- ・緑豊かな自然・田園環境と共生する地区特性を活かしながら、バス交通による交通利便性を高め、中心市街地にアクセス*しやすい交通サービスの充実や、既存施設を活用しながらコミュニティ*の充実を図り地域定住化を促進します。
- ・現状では、狭あいな生活道路*などの側溝整備等により拡幅等を行い、緊急車両の通行を容易にし、また避難路として活用します。
- ・下水道処理区域並びに農業集落排水処理区域内において下水道への接続を促進するとともに、合併処理浄化槽*の設置を促進し、生活・営農環境の維持・保全を図ります。
- ・宮床地区では、宮床伊達家の歴史を伝える宮床宝蔵や原阿佐緒記念館等地域の個性・誇りでもある歴史資源の地域づくりへの活用を図ります。
- ・高速通信網などの情報インフラの整備を進め、生活利便性の向上を図ります。

● 南北方向の連携強化を支える北四番丁大衡線（大衡仙台線）の整備促進

- ・本町と仙台都市圏の連携を強化し、“ものづくり産業”の展開を支える（都）北四番丁大衡線（一）大衡仙台線）の整備を促進します。

3) 田園ゾーン

吉田川や宮床川の流域に広がる田園ゾーンにおける整備及び保全の取り組みを次のとおり定めます。

[整備及び保全の取り組み]

● 本町の農業生産拠点としての優良農地の保全

- ・本町の農業生産拠点として、農業振興地域農用地*に指定されている吉田川流域並びに宮床川流域の良好な農地については、経営基盤の充実・安定化、都市近郊型農業への転換等により引き続き保全を図っていきます。

※文章中の「*」については、巻末の用語集を参照してください

【 西部地域の整備、開発及び保全の方針図 】

[地域づくりの方針]

- 優れた自然・田園の保全と地域の特性を活かした観光・レクリエーションの振興
- 安心して定住できる環境の形成

船形・セツ森自然環境ゾーン

- 船形・セツ森自然環境ゾーン：次代に引き継ぐ町の宝として良好な自然環境の保全
- 緑地ゾーン：都市と自然の緩衝帯でもある暮らしに身近な緑地・里山環境の保全
- 豊かな自然や水辺、各種運動施設等を活かした観光・レクリエーションの振興

地区中心ゾーン

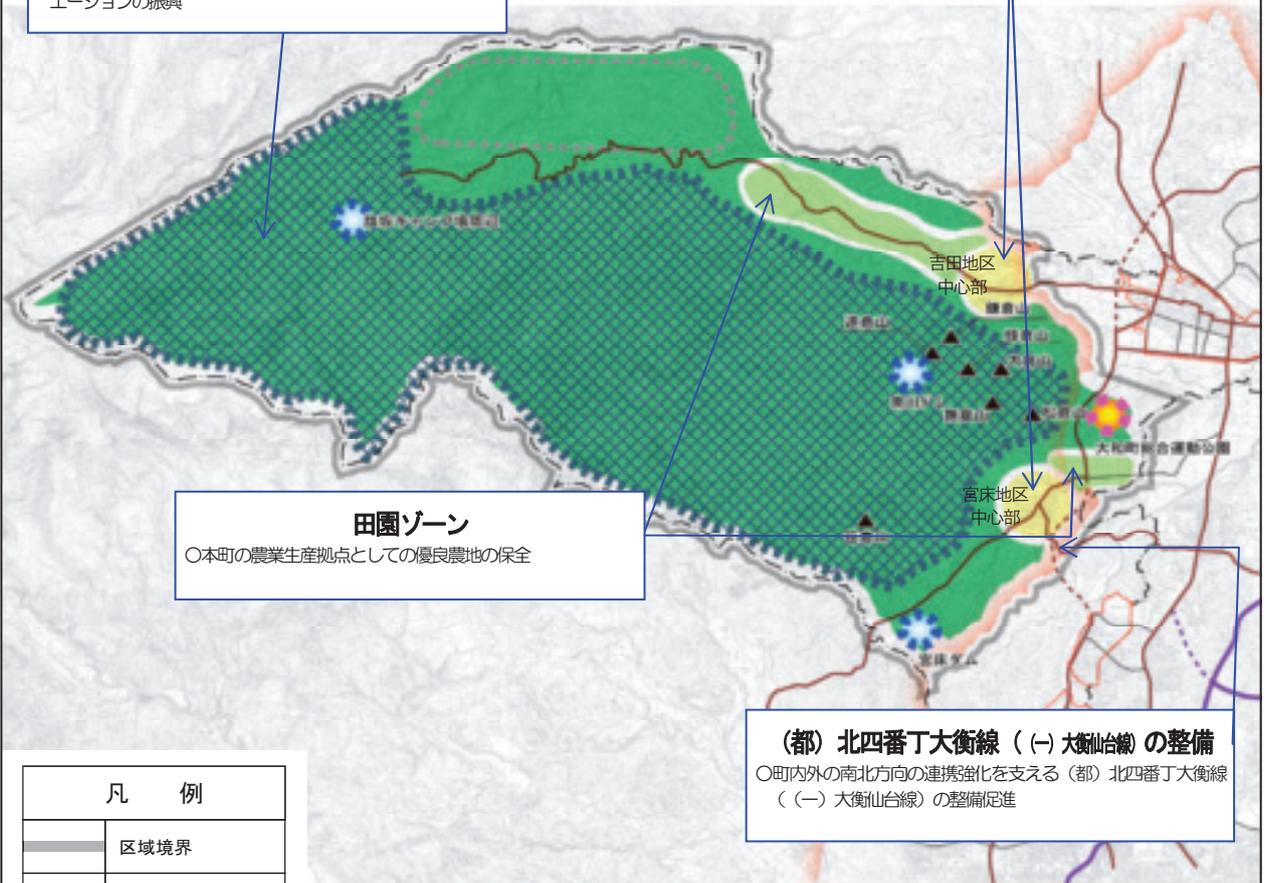
- 自然・田園環境と共生する地区中心部における地或定住化の促進

田園ゾーン

- 本町の農業生産拠点としての優良農地の保全

(都) 北四番丁大衡線 (←) 大衡台線) の整備

- 町内外の南北方向の連携強化を支える(都)北四番丁大衡線(←)大衡台線)の整備促進



| 凡 例 | |
|-----|---------------|
| | 区域境界 |
| | 行政界 |
| | 現行市街化区域界 |
| | 都市計画区域 |
| | 船形・セツ森自然環境ゾーン |
| | 緑地ゾーン |
| | 地区中心ゾーン |
| | 田園ゾーン |
| | 主要幹線道路 |
| | 幹線道路 |